

令和4年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

中学校（国語）

受験番号
氏名

注意事項

- 一 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 二 問題は、一ページから七ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 三 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 四 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置いてください。
- 五 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 六 この問題用紙は、持ち帰ってください。

「国語科の第二学年「書くこと」の学習で、総合的な学習の時間「〇〇市の観光案内をします」と関連付け、地域振興課や地元のお店へ手紙やメールで協力を依頼する、という言語活動を設定した。次は、本単元の【単元の指導計画】【商店への手紙の下書き】【地域振興課へのメールの下書き】である。後の「問一」～「問三」に答えなさい。

【単元の指導計画】

学習指導要領上の位置付け
知識及び技能 (1)カ 敬語
読解、聴解、観解 「B書くこと」エ 推敲

※①～⑥は単位時間を、・は教師の支援を表す。

【つかむ過程】(1時間)

- ・総合的な学習の時間との関連を図る。
- ・あらかじめ関係各所へ連絡する。

単元の課題

手紙やメールで、総合的な学習の時間への協力を、地域の方に依頼しよう。

- ① 単元の課題をつかみ、相手や目的を確認する。
a 手紙とメールの違いを考えさせ、どちらの方法で伝えるか決めさせる。

【追究する過程】(4時間)

- ② 伝える内容を考え、手紙とメールのそれぞれの構成を学習する。
③ 下書きをする。
④ 敬語の学習を行い、下書きを進める。
⑤ グループで観点にそって推敲を行う。

【まとめる過程】(1時間)

- ⑥ 手紙やメールを清書し、単元全体を振り返り、学んだことを一般化する。
・内容を確認し、後日送付する。

【商店への手紙の下書き】

b

△△和菓子店の皆様、突然のお手紙で、失礼いたします。〇〇市立群馬中学校 赤城太郎と申します。

さて、私たちは総合的な学習の時間の中で、「〇〇市の観光案内をします」をテーマに、地域の観光や食べ物を紹介し、発信する学習に取り組んでいます。

そこで、△△和菓子店の商品を紹介させていただきたく、手紙を送らせていただきました。

c

つきましては、お忙しい中とは思いますが、お店に伺い、インタビューをさせていただきたいと考えております。

後日、電話にて連絡させていただきます。

d

九月十三日

△△和菓子店 御中

〇〇市立群馬中学校
二年一組 赤城太郎

宛先 ○○○@☆☆.ne.jp
件名 総合的な学習の時間についての協力をお願い

〇〇市地域振興課 御中

突然のご連絡、失礼いたします。〇〇市立群馬中学校2年1組の榛名花子と申します。

私たちは総合的な学習の時間の中で、「〇〇市の観光案内をします」をテーマに、地域のよさを発信していく学習に取り組んでいます。

つきましては、地域振興課の皆様にも〇〇市の魅力を発信していくことについて、ご助言をいただきたいと思います。平日の午後3時半から5時の間であれば、eいただけます。お忙しいところ申し訳ありませんが、ご対応いただくことは可能でしょうか。ご検討ください。

〇〇市立群馬中学校 榛名花子
□□□@☆☆.ne.jp

【地域振興課へのメールの下書き】

【問一】【単元の指導計画】に関する次の(一)、(二)の問いに答えなさい。

(一)「中学校学習指導要領解説 国語編」には、手紙や電子メールを書く際に「相手や媒体を考慮して書く」と記されている。【単元の指導計画】の——線 a「手紙とメールの違いを考え」させる際に、どのような特徴を比較させればよいか、三つ例示しなさい。

(二) 指導計画の中で、学級の生徒全員の学習評価について、記録に残す場面を精選したい。「知識・技能」の記録に残す評価は、単元の何時間目に設定すればよいか考え、その時間に設定した理由も含めて答えなさい。

【問二】【商店への手紙の下書き】【地域振興課へのメールの下書き】に関する次の(一)～(三)の問いに答えなさい。

(一) ・ に入る頭語・結語の組み合わせを、それぞれ漢字で答えなさい。

(二) 単元の五時間目の【グループでの推敲】の場面で、——線 e「いけます」について次のように話し合われた。《ア》《イ》に当てはまる言葉を、それぞれ漢字三文字で答えなさい。

【グループでの推敲】

太郎	「いけます」は、何かおかしくないかな。
花子	これでは、相手に失礼だよね。
太郎	「いく」の敬語は、「いらっしやる」だったかな。
教師	前の時間に学習した敬語には、どんな種類があったか確認してみましょう。
花子	そうか。「いらっしやる」は《ア》だから、自分の行動に対して使うとおかしいよね。
太郎	ここは《イ》に直せばいいんだね。「伺うことができます」だと、どうかな。
花子	その方が良さそうだね。書き直してみるよ。

(三) 推敲の観点を基にグループで話し合った後、に文を付け加え、紹介したい気持ちを伝えることにした。指導事項「書くこと」(1)エ「読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること」に照らし合わせて、あてはまる文例を書きなさい。

【問三】 本单元のように教科等横断的な学習を行うことの、国語科における指導の利点と留意点について「必要感のある言語活動」「指導事項」の言葉を使い、簡潔に説明しなさい。

二 次の文章を読んで、後の「問一」～「問八」に答えなさい。

〔問一〕——線ア↘ウについて、カタカナは漢字に直し、漢字の読みはひらがなで書きなさい。
送り仮名が必要なものは送り仮名も書きなさい。

〔問二〕——線①「穿った」の意味として適切なものを次のア↘エから選びなさい。

ア 疑ってかかる イ 本質をとらえる ウ 素直に受け入れる エ 先入観のある

〔問三〕——線②「この自由」とはどのような自由か。十五字以内で書きなさい。

〔問四〕——線③「根本」の対義語を漢字二字で書きなさい。

〔問五〕 A B に入る接続詞として適切なものを次のア↘エから選びなさい。

ア つまり イ このように ウ 例えば エ しかし

〔問六〕 次の文章は、本文のどの段落の後に入るのが適切か。段落の番号を答えなさい。

〔問七〕 C には、同じ二字の熟語が当てはまる。適切な語を本文中から書き抜きなさい。

〔問八〕——線④「もうひとつの方向」とは何か。「伝承」「文化」「技術」の語を使い、三十字以内で書きなさい。

三 次の古文は、十二、三才の頃の能の稽古について書かれたものである。この文章を読んで、後の「問一」～「問五」に答えなさい。

〔問一〕 この文章の作者と書かれた時代を書きなさい。

〔問二〕 ——線①「教ふべし」について、現代仮名遣いに直してひらがなで書きなさい。また、現代語に訳しなさい。

〔問三〕 作者は、どんなことをさせると、——線③「能も上らぬ相なり」と言っているか、その内容を現代語で書きなさい。

〔問四〕 ——線④「花」とは「魅力」のことである。作者は、この年頃の魅力についてどう考えているか、生涯の能の良し悪しとも関連させながら、作者の考えを書きなさい。

〔問五〕 作者はこの年頃の稽古について何を意識すると良いと考えているか、——線②「二つの便り」と——線⑤「わざ」の内容について触れながら、作者の考えを書きなさい。

五次の〔問一〕〜〔問三〕に答えなさい。

〔問一〕 語句に関する次の(一)、(二)の問いに答えなさい。

(一)「析」の筆順を漢和辞典で調べたい。漢和辞典の検索方法を三つ、書きなさい。

(二)多義語の学習をするために「かける」を例に考えることにした。異なる意味の「かける」を使った五文節以上の短文を二つ書きなさい。なお、可能動詞の意味をもつ「かける」は含めないこととする。

〔問二〕 品詞に関する次の(一)、(二)の問いに答えなさい。

(一) 次の例文の —— 線を付けた語と同じ種類のものをア〜エの中から選び記号で書きなさい。

これはめったに見られない光景だ。

ア この野菜は新鮮だ。

イ この本は一年前に読んだ。

ウ あそこに見えるのが榛名山だ。

エ 午後の会議には間に合いそうだ。

(二) 次の三つの例文ア〜ウの「ない」のそれぞれの違いを生徒に説明したい。「自立語」「付属語」という言葉を用い、品詞名を明らかにし、生徒に説明する形で書きなさい。

ア 今週末は予定がない。

イ いくら待っても彼は来ない。

ウ 発言の機会が少ない。

〔問三〕 「若」という漢字を使って、行書の特徴である「筆順の変化」について説明したい。「若」を
行書で書き、特徴が出ている部分に○をつけなさい。

国語 解答用紙
二枚中の二
受験番号
氏名

(4年)

三

〔問一〕	作者
	時代
〔問二〕	現代仮名遣い
	現代語訳
〔問三〕	
〔問四〕	
〔問五〕	

四

〔問一〕
〔問二〕
〔問三〕
〔問四〕

五

〔問一〕	〔一〕
	〔二〕
〔問二〕	〔一〕
	〔二〕
〔問三〕	

以下はあくまでも解答の一例です。

国語 解答用紙
二枚中の一
受験番号
氏名

(4年)

〔問三〕	(三)	なかでも、温泉まんじゅうは市を代表する銘菓として、ぜひ市外の方にも紹介したいと考えています。等 10点	
		(二)	(一)
		ア 尊敬語 イ 謙譲語 4点×2	b 拝啓等 d 敬具等 4点×2
〔問二〕	(二)	四時間目 又は、 五時間目 又は、 六時間目	「知識及び技能」である敬語を、指導の中心として扱う時間の中で見取るため。等 10点
		何時間目	理由
〔問一〕	(二)	・相手に屈く早さ・相手に与える印象 ・やりとりのしやすさ・修正のしやすさ・構成 ・使用する筆記具・文字数の制限、等から3点記述。 4点×3	

〔問一〕	ア	離脱	イ	延びる	ウ	じょじゅつ	4点×3										
		イ		ウ		じょじゅつ	4点×3										
〔問三〕	二	足歩行	よ	つ	得	た	手	の	自	由	6点						
〔問四〕	末梢、末節、枝葉等	4点															
〔問五〕	A	ア	B	エ							4点×2						
〔問六〕	2	4点									4点						
〔問七〕	競	争	4点								4点						
〔問八〕	地	域	特	有	の	伝	承	や	文	化	の	基	礎	と	な	等	8点

以下はあくまでも解答の一例です。

国語 解答用紙	二枚中の二	受験番号	氏名
---------	-------	------	----

(4年)

三

[問一]	作者 世阿弥	時代 室町時代	4点・4点
[問二]	現代仮名遣 おし(しゆ)うべし	現代語訳 教えるべきだ 等	4点・4点
[問三]	手のこんだ物まね 等	4点	
[問四]	この年頃の魅力は真実の魅力ではなく、一時的な魅力であり、この時期の巧拙は、生涯の能の善悪を決定するこ とにはなりえない。 等		
[問五]	容易に効果の上がる姿や声の魅力を活用すると同時に、動作を確実にしたり、はっきり発音したり、舞は型をし っかり身に付けたりするなど、基礎的演技を大切にすると良い。 等		

四

[問一]	ア、イ、ウ	完答 3点	
[問二]	正正の旗を邀ふる無かれ	3点	
[問三]	隊列を整え、旗を立てて進撃してくる敵軍を迎え撃つてはならない。 等	3点	
[問四]	レ点のついた漢字は、一回とぼしてそのすぐ下の漢字の次に返って読み、 二点のついた漢字は、一回とぼして一点のついた漢字まで読んでから 二点のついた漢字まで返って読む。 等	7点	

五

[問一]	(一)	① 音訓索引 等	② 画数索引 等	③ 部首索引 等	4点×3
[問二]	(二)	① 利根川に新しく赤い橋をかける。 細かい作業をするために眼鏡をかける。 等	② 算数の計算で4と3をかける。 店の前に新しい看板をかける。 等		4点
[問三]	(三)	ウ	4点		
[問四]	(四)	アの「ない」は、「自立語」の用言(述語になる)で、言い切りの形が「い」なので、「形容詞」である。 イの「ない」は、「付属語」で「ぬ」に置きかえることができるため、「助動詞」である。 ウの「ない」は、「自立語」の「少ない」という「形容詞の一部」である。 等			10点
[問五]	(五)	着	6点		